

第 1 回薬師・金井地区中学校新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2025 年 10 月 27 日（月） 14：33～15：45	
開催場所	金井中学校 別棟学習室	
出席者 (敬称略)	委員	高見澤委員、高木委員、松成委員、末吉委員、大和田委員、大森委員、堀切委員、高橋（倫）、高橋（圭）、大石委員、佐野委員、◎矢島委員、菊池委員、○松岡委員、田中委員 （◎：会長、○：副会長）
	事務局	学校教育部長、教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、企画政策課、防災課
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

はじめに 学校教育部長挨拶及び委員委嘱

学校教育部長 町田市教育委員会で進めている「新たな学校づくり推進計画」について、薬師・金井地区で第2期が始まる。少子化や学校施設の老朽化に対応しながら将来を見据えたよりよい教育環境を整備するとともに、地域と学校の新たなつながりを生み出す取り組みと考えている。

さらに、この学校を児童・生徒の学びの場だけではなく、地域の拠点になる「地域活用型学校」をつくっていくことになる。2021年5月に新たな学校づくり推進計画を策定し、ようやく進行して、今年の4月には第1期の中で本町田ひなた小学校と成瀬小学校がまず統合した。仮校舎だが、既に統合している。現在、校舎の解体工事をしており、2026年2月に新校舎の建築工事に進んで行く。

薬師・金井地区の新たな学校づくりでは、中学校として初めて着手することになる。今までは小学校を進めていたので、中学校では一番手になる。こちらの基本計画検討会は、両校の統合に向けた検討が必要な課題を、保護者、地域、教職員の方々と交えて検討するために設置している。

具体的な検討内容は、6月に開催した意見交換会等で寄せられた意見や質問、その他にも、通学関係や新しい学校名も考えなければならず、学校の歴史継承、中学校ならではの事として、標準服の製作や部活動のことも検討が必要になる。

最後になるが、教育委員会では保護者や地域、様々な方と議論を重ね、この計画を進めていきたいと思っている。委員の方、それぞれ地域、PTA等において、情報発信を積極的にして欲しい。学校統合について知らないという意見も聞くので、なるべく情報発信もお願いしたい。

これから皆さまに協力してもらうことをお願いして、挨拶としたい。

1 薬師・金井地区中学校新たな学校づくり基本計画検討会の設置について

新たな学校推進課（資料 1 説明）

〔 委嘱書交付 〕

〔 会長・副会長選任 〕

2 基本計画検討会委員自己紹介

新たな学校推進課（資料 2 説明）

〔 各委員自己紹介 〕

3 新たな学校づくり推進計画について

新たな学校推進課（資料 3 説明）

委員 5 ページ目に、「60 年以上の建物については建て替え、それ以外についてはリニューアル工事をする」と記載があり、リニューアル工事は耐震工事も含まれている認識だが、その耐震工事をした際、どのくらいの期間校舎が耐えられるのか、試算はあるか。

施設課 町田市内の小中学校の校舎については、既に耐震化工事が終わっている。建物が何年耐えられるかは、建物のコンクリート強度の劣化や、中に入っている鉄筋の腐食で判断している。金井中学校は、調査した結果、コンクリート強度、鉄筋の腐食ともに健全のため、リニューアル工事としている。

委員 リニューアル工事をした後、何年くらい耐えられるのか。

施設課 リニューアル工事をするとき、できる限りコンクリートが劣化しない措置は取るつもりでいるが、実際には、何年かおきに調査を継続していき、その結果によって判断することになる。今、50 年とか 100 年耐えられると断言できない。ここでは答えられない状況。

4 薬師・金井地区中学校の新たな学校の概要について

施設課（資料 4 説明）

委員 体育館や開放棟は地域の避難所になると思うが、開設に必要な物が揃うか。

また、鶴川地区に小中学校のプールが全部なくなり、鶴川中学校温水プールに集約されるということか。

施設課 避難施設として必要な設備について、防災備蓄倉庫やトイレ、更衣室は含める想定でいる。また、施設を貸し出す際の管理室等も整備する。これから設計を進めていく上で、防災課等と協議しながらトイレの個数やマンホールトイレの設置場所等の検討を進める。

2 つ目の鶴川地域のプールは、プール集約により、鶴川中央小学校と（仮称）鶴川東小学校には屋内プールを設置する予定。鶴川地区の中学校のプール授業は、鶴川中学校の温水プールを使用することになる。

委員 開放棟の利用時間は、生徒が授業を受けている間は開放しないという運用方法か。開放棟に不審者か一般利用者か区別がつけづらいと思っている。校舎棟に入れない仕切り等、安全面の措置は何か対策をして欲しい。

新たな学校推進課 開放棟の一般利用について、日中は学校教育で使用し、放課後、生徒たちが利用しない時間帯以降での運用を想定している。

リニューアル工事にあたっては、既存の校舎はリニューアル工事、体育館棟と新築棟を別に建てる予定で、資料6ページ目の図面にあるように、それぞれの棟でセキュリティラインを設定したいと考えている。

今後、利用者の校門からのアクセスや生徒の動線等について、校舎の配置の視点から委員の皆さんに意見を伺い、検討を進めていく予定である。

委員 設備面について、現状の金井中学校には校庭の照明はあるか。

委員 ない。

委員 今ない設備を増築、増強するかどうか意見と言えるのか。

新たな学校推進課 中学校における学校開放の在り方等をどのようにしていくかは、ご意見をいただきながら整理していきたい。

5 基本計画検討会の検討事項及びスケジュールについて

新たな学校推進課 (資料5説明)

委員 工期に影響する意見を言いたい。2028年度に入学する生徒が薬師中学校側での仮校舎で3年間過ごして卒業してしまうのが、不憫に感じるので、最後の卒業式を金井中学校のリニューアルした校舎でやるとか、校舎整備が終わったら最後に新しい校舎を使えたり、新しい建物に関与して卒業できるような配慮をして欲しい。

新たな学校推進課 仮校舎期間の3年間における負担として、まず通学のこと挙げられる。通学の負担を軽減するために、自転車通学について教育委員会で考えているが、そういったところをはじめ、施設整備も生徒たちに負担がかかる3年間にならないようにしていきたい。

また、金井中学校にできるリニューアル校舎について、生徒たちにどのような配慮ができるかは今後色々な方の意見を聞きながら進めていきたい。

委員 スケジュールの件で、教育委員会にかけるのは、個々に決まった段階でかけて決定していくような形になるのか。

新たな学校推進課 項番1の学校施設整備については、建設基本計画を2026年3月に策定する。

2025年12月に開催する第2回検討会や、今日も議事が全て終わった後、金井中学校の校地見学を行うが、次回の検討会で施設配置に関して検討を進めていく。

また、3学期になったら両校の生徒にも意見を聞きながら進めていきたい。この検討会では2026年2月の回を目途に、施設整備コンセプトをつくりたいと思っている。その施設整備コンセプトを建設基本計画に反映し、2026年3月に建設基本計画をつくる。

項番2以降のものについては、これから具体的な検討を進めていく項目になる。検

討項目が多岐に渡るため、26年9月までに順次各項目の検討をこの会で行う。

予定にはなるが、26年11月の回で、検討を行った内容を会の報告書としてまとめ、教育委員会に提出してもらう。それに基づき教育委員会で新たな学校づくり基本計画を2026年12月頃に策定する流れを想定している。

委員 そうすると、項番1の施設整備と項番2の通学関係について、2026年3月までに作成して教育委員会にかけるのか。

新たな学校推進課 項番1の施設整備は、今年度中に建設基本計画として策定する。それら以外の検討内容は、26年10月頃までにまとめる予定。

委員 最終的に2026年10月までに検討した内容を個別に、それなりに決まった段階で、教育委員会の中で決定していくということか。

新たな学校推進課 学校施設整備以外の検討事項等については、報告書の内容を踏まえ、市教委の方で薬師金井地区の基本計画を策定する。これをもって決定という見方もできるが、それぞれの検討項目における進め方の確認や、その方向性の決定というのはその都度というかたちとなる。

6 薬師・金井地区新たな学校づくりアンケートの実施内容及び結果並びに新たな学校の学校名意見募集について

新たな学校推進課 （資料6-1説明）
 （資料6-2説明）

次回開催予定 第2回基本計画検討会
 2025年12月18日（木曜日）14時30分 薬師中学校視聴覚室